

3月14日（日）

久しぶりに、野良猫てっちゃんの話。日差しが暖かく、てっちゃんは、お気に入りのプランターの中で寝ています。私が近づくと、やはり野良猫ですね、ぱっと頭を上げて私を見つめます。「てっちゃん、眠たいなあ」と声をかけて神社に行きました。神社から帰ってくると、ぐったりとおねんねです。近づくと、ぱっと頭を上げて私を見つめます。私はそのまま家に入りました。社務所に用事があって家を出た時も同じようなことがあり、帰って来た時も同様でした。しかし、このとき、少し変化が。ぱっと頭を上げてこっちを見て、私だと分かれると、頭を落として寝入ってしまった。警戒の必要な人間から、警戒しなくてもよい人間になったのでしょうか。それとも眠気が勝ったのでしょうか。警戒しなくてもよい人間になったのなら嬉しくもありますが、警戒するに足りない人間だと思われたのなら癩に障りますね。どっちなのかは野良猫てっちゃんに聞かないと分かりませんが、てっちゃんは、ほとんど鳴かないので、答えてくれそうにはないです。